

SELECTION & SPECIFICATION DATA

一般名	弱溶剤形ポリシロキサン樹脂塗料用中塗り
塗料のタイプ	アクリルポリオール/ 変性ポリイソシアネート
一般特性	人と環境に優しい弱溶剤形中塗り塗料。下記の用途への使用が推奨される。 - 屋根、タンク外面、橋梁、鉄塔、配管及び建屋鉄骨等の鋼構造物 - 鉄扉、階段、手摺等の建築鉄部
特長	<ul style="list-style-type: none"> • 低臭 • 有害重金属フリー • 下塗り、上塗りとの付着性に優れる
色相	白、淡彩、各色
下塗り	カーボマスチックマイルド など
固形分	容量 46% +/- 3%
固形分	重量 61% +/- 3%
混合物密度	1.08 +/- 0.03 g/cm ³
VOC	供給状態で：421 g/L

塗装方法	乾燥膜厚 (ミクロン/ 回)	理論塗付量 (g/m ²)	標準使用量 (g/m ²)*
ハケ・ローラー	50	118	140 ~ 160

*: 標準使用量は、被塗物の形状や塗装する部位、被塗面の表面状態、風速・気温等の環境条件、塗装作業者の技量等、種々の条件によって変化する場合がある。詳細はジャパンカーボライン社まで問い合わせること。

ウェット/ ドライ比	2.17 (無希釈)
タレ限界膜厚	140 ミクロン (ドライ)
耐熱性	連続: 93°C (199°F) 断続: 121°C (250°F)
注意点	浸漬される箇所には使用できない。
上塗り	シロキサンエースHB マイルド など

下地処理

一般	被塗面は清浄で乾燥していること。 被塗面に付着している油、グリース、汚れ等は溶剤を用いて拭き取る。
-----------	--

混合および希釈

混合	<p>基剤と硬化剤を混合し、均一になるまで動力攪拌する。</p> <p>基剤、硬化剤は全量を混合することを原則とするが、やむを得ず小分けして使用する場合には、基剤と硬化剤をそれぞれ均一になるように攪拌し、その後正確に秤量し使用する。</p>
-----------	--

マルチガード[®] 25 シロキサンエースマイルト[®] M

製品データシート



混合および希釈

希釈	カーボラインシンナー45の使用が推奨される。 ジャパンカーボライン社が推奨、供給する以外のシンナーを用いた場合は、塗料の性能に悪影響を与える恐れがある。
混合比	基剤：硬化剤 = 7：1 (重量比)
可使時間	5°C: 6 時間 10°C: 6 時間 20°C: 4 時間 30°C: 2 時間

塗装機器に関する指針

以下は、本製品を塗装する場合の塗装機器に関する一般的な指針である。塗装現場の状況によっては、望ましい結果を得るためにはこれらの指針の変更が必要な場合もある。

塗装機器 | ハケ、ローラー

塗装条件

条件	被塗面温度	気温	湿度
最低	5°C (41°F)	5°C (41°F)	0%
最高	50°C (122°F)	40°C (104°F)	85%

硬化条件

被塗面温度	硬化	弱溶剤系上塗りでの最小上塗り可能時間	弱溶剤系上塗りでの最大上塗り可能時間	水系上塗りでの最小上塗り可能時間	水系上塗りでの最大上塗り可能時間
5°C (41°F)	24 時間	8 時間	7 日	24 時間	5 日
10°C (50°F)	24 時間	8 時間	7 日	24 時間	5 日
20°C (68°F)	18 時間	5 時間	7 日	24 時間	5 日
30°C (86°F)	18 時間	3 時間	7 日	24 時間	5 日

上表は、乾燥膜厚50 ミクロンの場合である。厚膜・換気不足・低温等の条件では乾燥時間が長くなり、溶剤の閉じ込めや早期の不具合が発生する可能性がある。

荷姿、取扱および保管

保存可能期間 | 製造後6 ヶ月
未開封で保管条件に従った場合。

保管条件 | 屋内に保管すること。

正味重量	16 kg セット	8 kg セット
基剤	14 kg	7 kg
硬化剤	2 kg	1 kg

	引火点 (°C)	有機則区分	危険物分類
基剤	43	3 種	4 類2 石 非水溶性液体

荷姿、取扱および保管

	引火点 (°C)	有機則区分	危険物分類
硬化剤	44.5	3 種	4 類2 石 非水溶性液体
カーボラインシンナー45	41	3 種	4 類2 石 非水溶性液体

* 安全情報に関する詳細は、安全データシート (SDS) をご参照ください。

更新情報

最終更新 | 2023 年5 月

管理番号 | PDS185-004

付記事項

当社が知る限り、本資料に含まれる技術データは正確ですが、予告なく変更される場合があります。特に記載がない限り、本資料に含まれる製品名・社名はカーボライン社の登録商標です。安全に関する情報の詳細については、SDSをご参照ください。